

Asian Rural Sociology Working Group
(アジア農村社会学会準備会) からのお知らせ
せと参加へのお誘い

松田 苑子 (ARSWG組織委員)

昨年ペンシルバニアでの国際農村社会学会 (IRSA) 大会で、アジアの農村社会学者が集まり、ARSWGが結成されました。「研究通信」一七二号)。そして現在のARSWGがIRSAのアジア地域の地域学会の機能を暫定的に引き受けております。そして昨年の村研の大会で、村研がこれらの国際機関に対し、日本の農村社会学の組織的な意味での代表機関となることが決定されております。

現在、ARSWGでは、二つの作業中です。ひとつはARSWGの組織委員を決定することです。すでに中国(北京)、中国(台湾)、インド、日本、韓国、パキスタン、フィリピン、タイ、アジア域外の組織委員が決定している段階です。これらの組織委員を通じて、各国から、ARSWG入会者を募っています。

作業のふたつめは、アジア農村社会学者相互の研究ネットワーク

に役立てようと会員名簿を作成中です。村研はARSWGの組織会員ですが、それとは別に個人的な意思を確認して、ARSWGの名簿にお名前を掲載したいと思えます。すでに、前回の村研大会に出席の方から四〇名ほど入会の手続きをいただきましたが、入会のご希望の方は松田(〒

松田苑子)まで、住所と名前、所属をローマ字でお知らせ下さい。会費(二千元)については、事務局からあらためて請求致しますので、今回ははがきで入会意思のご連絡だけで結構です。この秋の末ごろになるかと思いますが、入会者にARSWGの会員名簿を送付致します。現在アジア各国から合わせて八〇名ほどの農村社会学者が入会の手続きを済ませています。